



昭和 22 年度 坂中職員

江口、加地、井原、垂水、勝瀬、塚本
 佐藤、井原、幸野、佐藤、泰地、細岡
 宮城、園田、船越、船越、日切、篠原、北内

現在の坂野中学校が始まった。

当時は全員が徒歩通学で、自転車など思いもよらぬ乗り物であった。遠い者は3キロ余りを昼食に帰る者もいた。校舎が間に合わず、和田島小学校や坂野小学校から教室を借り受けての授業が行われた。各教場では、粗筵あらびしよの上に座り、机なしの授業が行われた。スポーツ面では、放課後狭い運動場で野球が始まり、芋畑にボールを取りに行きよく叱られた。昭和 23 ~ 24 年にわたり、校地買収、校舎新築、運動場拡張、校歌制定等が進み、苦難に満ちた創設期であったが、新生の意気に燃える活気に満ちた時代であった。尚、各教場には下記の先生が勤務されていた。

新制中学校開始時教員配置 校長(初代) 船越茂孝

和田島教場(5学級) 成川龍達教頭、宮城一雄、園田 豊、沢田末雄、日切 要、富永トモエ

坂野教場(6学級) 原口勝次教頭、佐藤千代次、井原謙治、井原宣明、勝瀬 博、堀本 勝、大西清子
 (宮城一雄氏・井原謙治氏 談)

(2) 校 章 制 定

校章の由来

学校沿革史に「昭和 23 年 2 月郷土の特色を表徴する校章を制定する」とある。校区は、坂野小(坂野地区)・和田島小(和田島地区)・新開小(大林、赤石地区)からなり、校章はそれぞれの特色を表徴し、総合、図案化したものである。

本校は中央の「坂野」に設立され、所在地の「根上り」の名は天然記念物「根上り松」に由来し、この松葉で校章を型どっている。「和田島」は海に面し、それを波濤の勇姿で表し、また「新開」の大林沃野は校章の広がりで見せている。

尚、校訓の「勉学・親和・愛校」を表す「中」を中心に型どったものである。由来についての記録はないが、先人の申し送りなどで「こうだろう」という程度のものである。

(昭和 54 年 9 月 20 日の開元 武志 氏の文より、校章写しは西 良嗣氏)

小松島市坂野中学校校章
 (図柄考案：和田島教場
 教頭 成川龍達氏)

